

# 黒崎町の八音

町長 黒崎 宗一

## 大野の女子勤労挺身隊 (一)

### 昭和十八年十一月、大野からの女子勤労挺身隊が東京へ落下傘作りに向かう。

昭和十八年十一月のある日、筆者の妻が大野二ノ町の大駒洋品店の奥さん・大坂和子さんから耳寄りの話を聞いてきた。昭和十八年、和子さんがまだ国民学校六年生の時、東京本所の軍需工場に女子勤労挺身隊として志願していた親戚の樋口ヨシエさんを、母と慰問に行ったというのである。当時、筆者は「黒崎村女子勤労挺身隊」について調べ、昭和十七年の第一次、十九年の第三次挺身隊(どちらも大阪方面)についてまとめ上げたばかりだった。それまでの調査では、農村部から大勢の娘たちが挺身隊として東京や大阪の軍需工場へ送られていくことはわかっていたが、大野からは参加者が一人もいないと思っていたので、和子さんの話は初耳であった。



各段とも左から(カッコ内は現在の姓)上段/故・柴垣ミサオ(高橋) 渡辺良(関川) 安藤トシ(石山) 大坂ヨシエ(樋口) 坂井サウ(坂井) 山際フキ(山際) 白井ヨキイ(関根) 和泉田ヤイ(笠井) 丸山ミチ(浅見) 故・大坂マリ子(大坂) 中段/八代トシ(鈴木) 中野キヨ(中野) 大野セツ(田中) 小杉セツ(?) 故・浅妻ミツエ(?) 横木イト(横木) 横村スイ(高橋) 内藤八重(川合) 下段/大野サキ(高橋) 宮村ミワ(大矢) 笹川イシ(東条) 木山タネ(木山) 長沢キイ(?) 白井ツセ(渡部) 故・肥田ミヨ(肥田)

くにつれ、多くの男子が次々と戦場に送り出された。そのため、国内の軍需物資の生産が人手不足から困難になり、学徒勤労動員から女子の動員まで行われていたのである。要請を受けた村は大野町連合自治会に挺身隊の募集を求めた。

募集要旨によれば、派遣先は東京都墨田区本所の「藤倉航空株式会社」という航空機関係の軍需品を製造する会社で、隊員はそこで女工として軍の落下傘作りにあたるということだった。期間は十八年十一月十五日から翌年三月十五日までの四か月間だった。大野連合自治会は、各自治会に何人かの割当てをするように、自治会長が未婚の娘のいる家々を回り、熱心に隊員の勧誘にあたった。娘たちは続々と志願を申し出て、たちまち挺身隊が結成された。軍国主義教育の下で育った彼女たちの多くは、銃後を守るという使命感に燃えての志願者であったが、中には、この機会に東京が見られるという淡い期待を持つ者もあった。現代と違って、他県に旅行することなど皆無に等しかったから、東京ははるか彼方のあこがれの地であった。

この時、挺身隊に志願した笠井さんと大矢さんは、当時の気持ちの次のように話している。「戦争がもう長く続いていたため、町から大勢の人们が出ていた。私たちが同級生や下級生の何人か私たちに送られて戦場に行っていた。こうして出征兵士を送るたびに、男に生まれたいれば国の役に立てるものをと女の我が身をくやしき思っていた。そこへ、東京の軍需工場へ向かった。挺身隊の一行を乗せ新瀉駅をたった汽車は、その日の夕方五時ごろ上野駅に着いた。

そこに藤倉航空の寄宿舎・あけぼの寮(木造二階建て)があった。あけぼの寮は、そのらのアパートのようなつくりで、食堂や風呂さえないという粗末なものだった。四畳半か六畳くらいに仕切られており、四人くらいで一つの部屋に入るようになった。一人分ずつか畳一枚強の広さしかないわい。しかも、冬も間近な十一月半ばというのに、元費節約のため、部屋には火鉢さえ置いてなかった。

## 新しい農業委員が決まる

### 20名が無投票で 議会推薦で2名

平成二年七月十九日、農業委員会委員の任期が満了しました。そこで、農業委員会委員一般選挙が、七月十日告示、七月十五日投票の日程で行われましたが、候補者が定員を超えなかったため、七月十五日の選挙会で、立候補者二十一人全員が無投票で当選と決まりました。当選者は次の通りです。

- ◎桜井正平(木場下) 金田七亥(北場) 小林忠芳(木場上) 小林興市(立込) 岡田利栄(板井四) 高橋与作(木場八割) 深沢照雄(小平方) 江端直樹(黒鳥一) 片岡斉(黒原本村) 鈴木武(黒鳥五) 白井貞一(黒鳥三) 間利一(上山田) 小杉長英(寺地) 松沢助則(木場八割) 柏直善(木場新田) 鈴木

## 議会6月定例会が開かれる

### 6月28日から7月6日まで10議案を審議

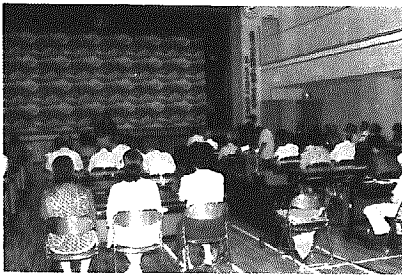
町議会の六月定例会が、六月二十八日(木)から七月九日(月)まで開かれました。町道路線の廃止・認定や一般会計の補正予算など十議案が提出され、八議案が可決されましたが、町道路線の廃止・認定の二議案は産業建設委員

## 短 信

5月15日 ~ 6月15日

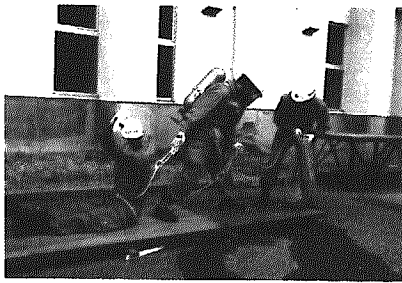
- 6月15日 第8回新瀉地域近隣市町村長懇談会(新瀉市、町長出席) 中之口川沿線経済振興協議会総会(中之口、町長出席) ▶17日 第29回町民親善大運動会(黒崎中グラウンド) ▶20日 公立学校施設整備促進期成同盟会(新瀉市、町長出席) 新瀉県国民年金協会2年度総会(新瀉市、町長出席) 西地区防犯組合連合会総会(西警察署、町長出席) ▶21日 入札(総務課、改善センター) ▶22日 内外情勢調査会(新瀉市、町長出席) ▶24日 農業委員会委員一般選挙説明会(総合体育館2階、選挙管理委員会) ▶25日 町水防会議(改善センター、町長出席) ▶26日 入札(総務課、改善センター) ▶28日 全町保母研修会(総合体育館、町長出席) 議会6月定例会(7月6日一般質問、9日最終日) ▶7月10日 農業委員会委員一般選挙告示、入札(総務課、議場) ▶11日 基本検診(7月20日まで、町内各地で、保健衛生課) ▶社会を明るくする運動(改善センター、町長出席)

## 非行防止を考える会



七月十四日(土)、農村環境改善センターで社会を明るくする運動の映画と講演会が開かれました。青少年の非行を防止し、明るい社会を築こうという趣旨で、全国的に行われる行事の一環です。映画は「十五歳の向う側」、講演は新瀉少年鑑別所所長・松本良枝さんの「最近の少年非行の特徴と家庭教育」についてでした。

## 「ほふく救出」で入賞



七月十日(火)、第七回新瀉県消防救助技術大会が、新瀉市消防局の消防訓練場で行われました。この大会は県内三十三消防本部から四二二人の精鋭が参加し、安全性・確実性・迅速性を九種目にわたり訓練の成果を競っていました。黒崎町消防署からは、「ほふく救出」に出場し、入賞しました。(消防署)

## 入札結果

総務課

工 事 名	工 事 業 者	請 負 額	完 成 期 限	入 札 日
農道用排水108号線測量設計委託	白根測量設計(株)	2,768,000円	9月28日	6月21日
農道67号線舗装工事	三建舗装(株)	2,472,000	8月19日	6月21日
大野都市下水路前川原幹線築造(第6工区)工事	(株) 国 土	22,237,700	11月17日	6月26日
大野都市下水路前川原幹線築造(第7工区)工事	(株) 笠 井 組	19,570,000	11月29日	6月26日
町道善久北場線舗装(補修)工事	(株) 田 辺 組	1,411,100	8月9日	6月26日
大野小学校受水槽設備等改修工事	(株) 鈴木配管工業	7,498,400	8月18日	7月10日
町立木場小学校改修工事	(株) 山際工務店	2,873,700	8月18日	7月10日
集落排水65号線測量設計委託	(株)北日本測量設計事務所	412,000	9月10日	7月10日

## 平成2年度 交通安全知事表彰

- ◎交通安全優良校 町立大野小学校 (校長・本間隆三)
  - ◎交通安全優良事業所 三国コカコーラボトリング株式会社新潟支社 (支社長・西川元)
  - ◎交通安全優良運転者 風間豊博(八区、59歳、有) 風間建材
- ※平成2年7月11日、「交通安全県宣言記念県民大会」において表彰されました。



町の動きをまもる。町の動きをまもる。町の動きをまもる。